

加 島

(かしま)



初代天皇誕生の基となる、天孫降臨の前段の神楽で
別名「国譲り」とも言われています。

～あらすじ～

高天原から出雲に降り立った経津主(ふつぬし)と武甕槌(たけみかづち)が、大国主命(おおくにぬしのみこと)に国を譲るよう談判します。大国主は「自分は承諾するが、2人の息子にも尋ねよ」と返答します。第一の王子、事代主(ことしろぬし)は承諾をしますが、第二の王子、建御名方(たけみなかた)は承知しなかったために戦となります。